

卒業理事：臼井 將勝／山路 晃誉／三戸 理／山内 基正／臼倉 義尚／谷間 修裕／児島 恵美子

理事になって本当によかった。

人生、だまされてなんぼっ！

司会：2011年1年間理事としてお疲れさまでした。理事もしくは委員長として、1年間いかがでしたか？

山内：とにかく、1年間、いろんな経験させて頂きました。理事でないと出来ないことばかりだったと思います。

児島：私もそうですね。特に、わんぱく、フォーラムの同時開催。これは、いままでにない取り組みでしたので想い入れが強くありました。実際、終わった後に泣いちゃいましたから。

山路：僕はプレッシャーの連続でした。

谷間：とにかく楽しみましたね。副委員長では絶対経験できなかったことをできた1年だったと思います。

司会：楽しかった、という意見が多かったですが、具体的にどの辺りですか？

谷間：自分の想いが形になる、という点でしょうか。予定者の段階で事業計画として考えたことをスタッフやメンバーに伝えて広がって。

臼倉：やった成果をオープンに広く伝えられることが満足ですね。

児島：楽しかったというのとは少し違いますが、自分のキャパシティは相当広げられましたね。

山路：そうそう。結構、無理矢理広げられた感じでしたけど（笑）

三戸：答弁台とか鍛えられましたよ。

児島：私は普段講師で、300人相手に講義をしたりするので話す事に慣れているはずなのに、20人の理事の前の答弁台で、全然答えられなかったですからね。

山内：答弁台は、本当に怖かったです。

谷間：スタッフとかみんなの想いを背負っちゃうから、ひとつひとつの発言の重みで怖くなってしまっただよね。

臼井：意見を聞く側は、いろんな角度から客観的に聞いてるだけなんだけど。

山路：もし、理事になっていなかったら何になったかな？って、時々思うんですよね。

児島：私は、普通に仕事しています（笑）。

臼井：何にも興味の湧かない、つまらない人間になっていたかも。

山内：理事になってなかったからといって、売上が倍になる訳ではなかったと思うわ。

司会：話がそれてきたので……。理事もしくは委員長で一番思い出に残っていることってありますか？

臼井：2006年グローバルビジネス創造委員会の委員長をやった時にTOYP事業を担当したんですが、これは忘れられませんね。12月の最後の打ち上げの時なんか、委員長冥利に尽きましたよ。パーッと泣いちゃいましたし……。

司会：臼井さん、恐キャラのくせに泣き過ぎですからね。2009年の理事サンクスとか……。

山路：2010年のシンガポールのASPACとか（笑）。

谷間：僕はなにわ淀川花火大会ですね。入会以来、見てるだけでしたが、自分が委員長として関わるようになって初めて、裏でこんな事があるんだ、こんな風に人が動いていたんだ、こんな歴史があったんだ、というのを知って。今年の花火の一発目が上がるのを見て、言葉になりませんでしたね。

司会：本当に、理事や委員長やって良かったね。

山内：僕は理事選でてなかったら、結婚してなかったかも？

司会：どうということ？

山内：コーカスで全然受けなくて、飲みに行ってその流れで結婚ですからね。理事選に感謝しています。

一同：おめでとー。

三戸：まちがいなく、理事はやって良かった。副委員長時代は、どこから手をつけたらよいか分からない事もあったけど、今は、あれこれ段取り良く、順序つけられるようになりました。

臼井：委員長はメンバーにとって光輝く存在であって欲しいですね。みんなはカッコいい委員長だったと思うよ。

司会：卒業してからのプランとかありますか？ 選挙出るとか？

臼倉：ゆっくり休みます。

三戸：時間が余って仕方ないかも……。

山内：健康な毎日を暮らします。

児島：仕事します。

山路：とにかく新しいことにチャレンジしたいです。

臼井：それはできるかもね。要領よく仕事ができるようになったからね。

谷間：卒業しても残るメンバーのために拡充に頑張ります。

一同：エライ。卒業理事の鏡だ。

山路：ホントに今年もありがとうございました。

司会：将来の理事候補であるメンバーの皆さんに伝えたい事ありますか？

谷間：「1人にとっては小さなことでも、人類にとっては大きな一歩」みたいな有名な言葉があるんですが、JCでもみんなそれぞれやっていることは小さなことでも、みんなに役立っているということ、やったことが必ず次につながっていることを忘れないで欲しいですね。

山路：大阪JCのメンバーであることに誇りを持ってほしいですね。

三戸：理事は大変だけど、1年の終わりの感動は、大変な分だけ大きいですからね。最後の打ち上げで全て癒されますよ。

山内：僕は、選挙出るときにある先輩に声をかけられたんです。「俺

が大事に思っている理事会を、大事に思ってくれる後輩に託して行きたい。」今度は、自分が言ってあげたいですね。

谷間：理事になることは高いハードルとは思わないんですね。幹事・副委員長までやったところでJCの真の面白さは見えない、どうせやるなら理事までやらないと。

司会：そのためには、どうしたら良いですか？

児島：まずは関わる事ですね。

谷間：他の頑張っているメンバーを見ることで、自分も手を差し伸べたくなったりするし、自分にできることはないかと考えも浮かんでくる。

山路：理事や委員長はメンバーのみんなに仕事を回していかなくてはならないけど、メンバー自身も、自分の仕事を掴みに行こうと努力しないと。

三戸：待ってるだけではダメ。

臼倉：それで築き上げられる人間関係は財産ですからね。

山内：経験は人生の財産、ですね。

臼倉：声をかけられたら、行くべき、と。

山路：とにかく一回なんでもいいからやってみて欲しい。

臼井：そう。うまいことだまされてください。だまされてなんぼ(笑)

一同：爆笑

司会：それ、タイトルで頂きます（笑）

山路：食わず嫌いはダメ。

臼井：終わった後の達成感は、やった委員長にしかわからないですよ。

司会：今日は、会員大会も終わり、年末のお忙しい日にありがとうございました。

(2011年12月13日 理事長卒業式会場控室・リーガロイヤルホテル大阪にて)

